

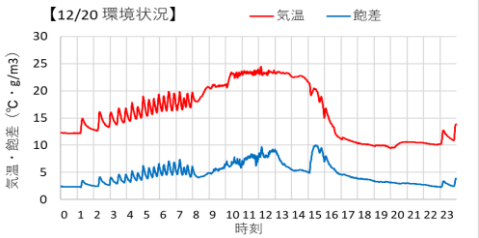
農場通信 2024年 1月号

2023/12/25

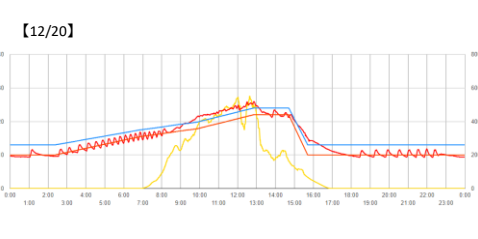
トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

① 圃場 ハウス ② 試験内容 ③ 開始日 ④ 終了予定 ① 第4 A ② ココバッグ展示 天敵によるコナジラミ防除試験 ③ 2023/8/30 ④ 2024/8/10

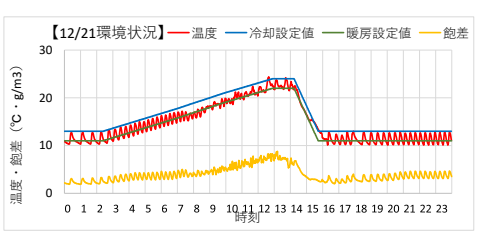
品目	圃場写真①	圃場写真②
栽培中 栽培準備中 今月最終		
直近の環境データ・管理方法(晴天日) ※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています	今月の状況 と 今後の管理	

大玉トマト		
【12/20 環境状況】 	8/30に定植しました。品種：桃太郎ホープ 今年は、ココバッグ通常タイプ、試作の「ミニ」、ロックウールで比較試験をしています。また、列中央に「クレオメ」を定植し、コナジラミの天敵であるタバコスカシカメを放飼して、防除を行っています。 日射量が一番少ない時期になるので葉かきを積極的におこなっています。通常ココバッグ、ミニバッグ、ロックウールで年内は大きな収量差はありません。カスミカメもようやく定着し、コナジラミもゼロではありませんが低密度で抑えられていると思います。	

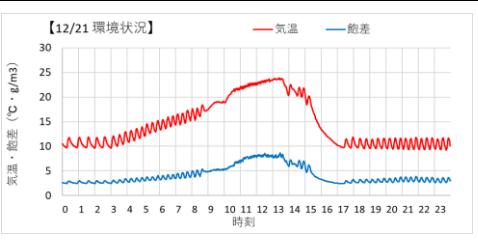
① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験 ③ 2023/7/28 ④ 2024/6月

ミニトマト		
【12/20】 	現在、開花段数は18～20段。 気温がしっかり下がってきたので果実の色まわりが遅くなりました。葉かきが遅れないように注意し、採光性を良くするように管理を行っていきます。 給液量は約1000cc/株、EC2.0前後、排液率20%になるように管理しています。	

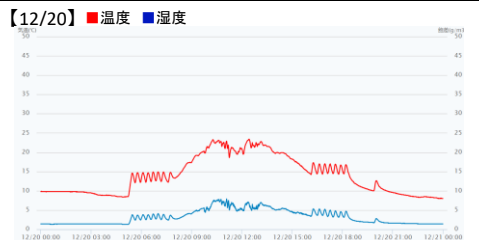
① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験 ③ 2023/7/28 ④ 2024/6月

大玉トマト		
【12/21環境状況】 	現在、開花段数13～15段。 湿度の管理のミスで葉が淡くなってしまいました。飽差を見直すことで葉色を戻しています。 株あたり約1100cc、EC2.0前後で管理しています。	

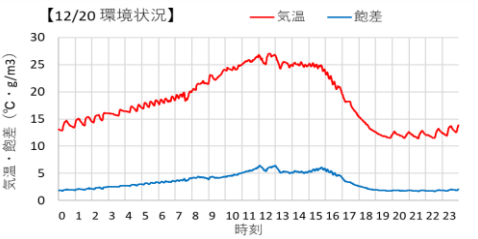
① 第4 D ② バラエティートマト品種比較試験 ③ 2023/8/27 ④

バラエティートマト		
【12/21 環境状況】 	着果負担のかかっている樹姿になりました。草勢が落ちないように管理を行います。 株あたり晴天時約1000cc、EC2.0前後で管理しています。	

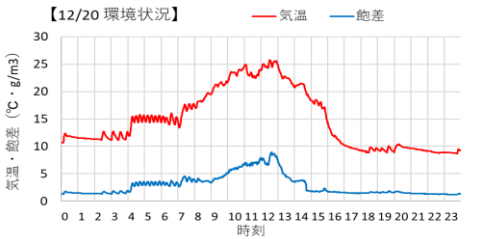
① 第4 E ② イチゴ栽培試験 ③ 2023/9/7 2023/9/20 ④

イチゴ		
【12/20】 	12月に入り、収穫が始まりました。未分化で定植を行うため収穫開始が遅れています。クラン温度制御試験の効果検証のため夜間暖房温度を5℃に設定しています。 試験区ごとに早生性や生育の様子に違いが見られるため調査結果を今後発信していきます。 給液は1回50cc×3回、ECは0.8前後です。	

① 第4 J ② ココバッグによる多収技術開発 栽植密度・葉面積管理試験 ③ 2023/10/6 ④ 2024/6月予定

キュウリ		
【12/20 環境状況】 	10/6に定植しました。ココバッグは2年目になります。品種は埼玉原種の「S-40」を栽培し、栽植密度と葉面積の最適値を検証します。 12月現在までで試験区ごとの大きな収量差は出ていませんが、葉面積試験区(摘葉を多めに行う)では群落内の光透過が良いためか、収穫位置が高くなっています。換気をほとんどしない時期になりますので炭酸ガスを積極的に施用していきます。	

① 第4 I ② 高糖度ミニトマト品種比較試験 ③ 2023/8/18 ④ 2024/7月

高糖度ミニトマト		
【12/20 環境状況】 	8/18に定植を行いました。 高糖度トマト専用の肥料処方を使い、給液EC2.0からスタート。10月末まで給液EC6.0まで上げ、排液ECは20.0以上(計測不能)になりました。 秋ごろは玉サイズがかなり小さくなってしまいましたが、12月末現在はやや大きくなった印象。糖度は9.0～10.0程度を維持できています。昼夜温差をしっかりつけることで締まった樹姿になり糖度も維持しやすいと考えています。炭酸ガスは「アグリーフ」で施用しています。	



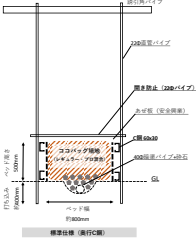
豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp

① 第1 Q ② コマツナ品種比較試験 ③ 2023/7/20 ④ 2023/10月

① 第3 M ② アスパラガス栽培試験 ③ 2023/6/2 ④ 周年

コマツナ		
11月27日播種	12品種栽培中！ 1月中旬収穫予定です	

アスパラガス		
		アスパラの「桟板式栽培」の実証試験。 桟板で隔離したベッドにココバッグの中身を入れて養液栽培をします。空きハウスで無加温作物の一つとして提案できれば面白い。品種も新しいタイプ3種類を含む、計6種類試験します。 今作は株を育てて、収穫は来年春からです。 12月末現在、ようやく地上部が少し黄化してきました。年明けくらいに地上部の刈り取りを行う予定。

① 第6 露地 ② キャベツ品種比較 ③ 2023/8/23 ④

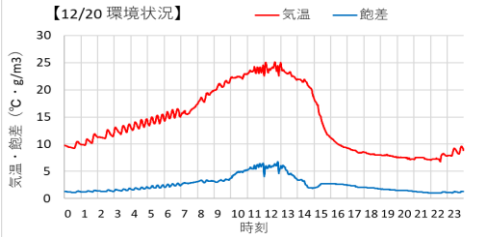
① 第7 露地 ② 緑肥試験 ③ 2023/4/13 ④

キャベツ		
冬系キャベツ ①年内作 8/23定植【終了】 ②年またぎ作 9/5定植 ③年明け作 9/20定植 ④3～4月作 9/27定植 春系キャベツ 年明け作 9/27定植	1作目は終了しました。 2作目の年またぎ作は年内収穫ができる品種のみ調査を行いました。年明け以降、再度調査を行う予定です。 3作目以降は雨が少なく土壌が乾燥きみだったため12月上旬に1度灌水を行いました。順調に生育しています。	

緑肥		
4/13 播種 7/10 緑肥すき込み 8/30 キャベツ定植	緑肥の効果検証のため通常の施肥量(窒素)を2割減らしています。 施肥量を減らした分、全体的に生育の遅れが見られるため減らす量は検討が必要となります。 無施用区より緑肥区の方が生育は良い結果となりました。 年内に試験は終了します。	

① 第8 ② 大玉トマト高糖度栽培試験 ③ 2023/8/18 ④ 2024/7月下旬

① 第2 露地 ② ブロッコリー品種比較 ③ 2023/8/21 ④

高糖度トマト		
		品種は昨年同様 麗旬、台木はアーノルドになります。今作は「高糖度トマト安定生産技術開発」の3年目となります。今作は増枝による増収技術の確立を目指します。 12月現在で糖度は約6.0度を少し超えたくらい。年内に7.0を目指していましたが、やや遅れ気味。玉サイズが絞れてきたためそろそろ高糖度出荷できるレベルになってほしいところ。夕方の温度がしっかり下げられるようになったため、ようやく樹に締まりが出てきました。

ブロッコリー		
1作目: 7/25播種 8/21定植 2作目: 8/16播種 9/15定植 3作目: 8/29播種 9/26定植 4作目: 9/12播種 10/11定植	1作目 収穫ほぼ終了 2作目 収穫中 3作目 出蕾済み	

① 第7ハウス ② 産直向け品目 ③ 2023/10月 ④

産直向け品目		
10月より産直向け品目栽培中	南棟では、ニンジンやピーツを 北棟では、ブロッコリーや芽キャベツ、ズッキーニなどを栽培しています 多くの品種で見頃を迎えています。	



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp